

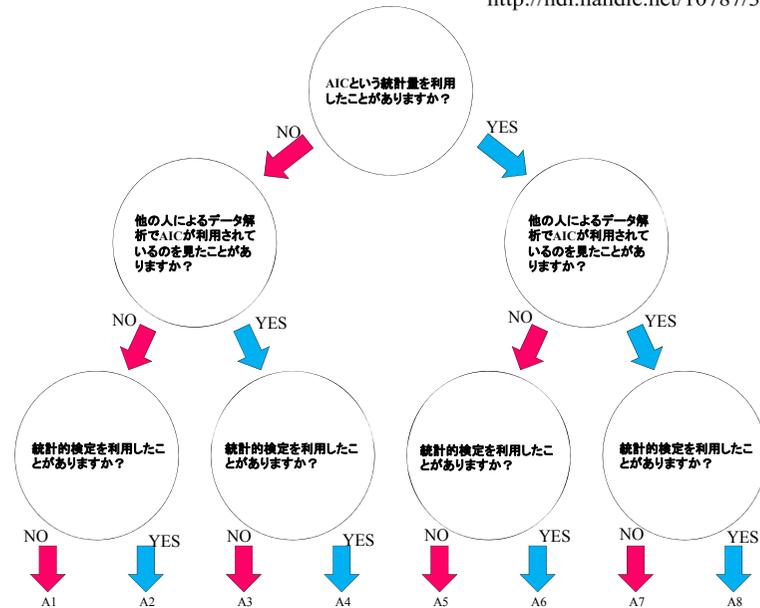
# AICという統計量を利用したことがありますか？

石黒 真木夫 統計思考院 特命教授

このポスターは読者に記入して頂くことによって初めて完成します。ご協力、お願いいたします。

統計手法の使われ方に関する調査です。以下の質問への回答に従ってとり着いた先にステッカーを貼って下さい。結果は、後日、統計数理研究所学術研究リポジトリ[RISM <http://ismrepo.ism.ac.jp/dspace/>]の記事として発表します。

<http://hdl.handle.net/10787/3835>



## 集計結果

- Q1: AICという統計量を利用したことがありますか？  
YES 59% NO 41%
- Q2: 他の人によるデータ解析でAICが利用されているのを見たことがありますか？  
YES 69% NO 31%
- Q3: 統計的検定を利用したことがありますか？  
YES 69% NO 31%

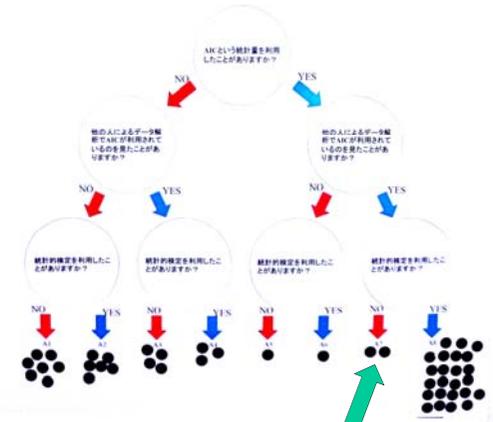
	Q1: YES	Q1: NO
Q3 = YES	51%	18%
Q3 = NO	8%	22%

### AICという統計量を利用したことがありますか？

石黒 真木夫 統計思考院 特命教授

このポスターは読者に記入して頂くことによって初めて完成します。ご協力、お願いいたします。

統計手法の使われ方に関する調査です。以下の質問への回答に従ってとり着いた先にステッカーを貼って下さい。結果は、後日、統計数理研究所学術研究リポジトリ[RISM <http://ismrepo.ism.ac.jp/dspace/>]の記事として発表します。



自分の一票をここに追加

## CATDAP による解析

	Q1: YES	Q1: NO
if Q3 = YES	74%	27%
if Q3 = NO	28%	73%

(この結果の AIC = -7.57)

	Q1: YES	Q1: NO
if Q2 = YES	79%	21%
if Q2 = NO	13%	87%

(この結果の AIC = -17.91)

	Q3: YES	Q3: NO
if Q1 = YES	86%	14%
if Q1 = NO	45%	55%

(この結果の AIC = -7.57)

	Q3: YES	Q3: NO
if Q2 = YES	79%	21%
if Q2 = NO	47%	53%

(この結果の AIC = -3.06)

<http://hdl.handle.net/10787/3835>

## 3変数の間の関係

最初の集計表

	Q1: YES	Q1: NO
Q3 = YES	25人	9人
Q3 = NO	4人	11人

を、質問Q2への回答で、つぎの2枚の集計表に分割できる。

(この分割の AIC = -15.6)

Q2 = YES とした 34名分については、

	Q1: YES	Q1: NO
Q3 = YES	24人	3人
Q3 = NO	3人	4人

Q2 = NO とした 15名分については、

	Q1: YES	Q1: NO
Q3 = YES	1人	6人
Q3 = NO	1人	7人

この結果は、サンプルが小さいので確実ではないが、検定を利用したことがあるがAICを利用したことがないというのは、AICが使われているのを見たことがないからだと説明できることを示唆しているように見える。

それが正しいなら AIC は宣伝不足なのかもしれない。宣伝すればもっとユーザーが増える可能性がある。